



2017秋号

# くまのみ通信

日本東洋医学会出席の時に撮影した早朝の熱田神宮（撮影：藤江正雄）

## 高橋さん勤続10周年記念!!



いつも素敵なお顔の高橋さん  
これからもよろしくお願ひします♪

おめでとう  
ございま～す！



日本東洋医学会出席



良い刺激に  
なりました！

# 院内処方と

# 院外処方

当院では原則として院内処方を採用しています。院内処方では、医療において薬がもらいます。一方、院外処方では医師から処方せんを受け取り、外部の調剤薬局で薬を受け取ります。医薬分業とも言われます。院内処方の医院でも院外処方せんは発行できますが、医薬分業の医療機関では原則として院内処方はできません。現状では分業率は全国平均で50%を越えています。特に新規開業の医院は多くが分業です。

院外処方の患者さんのメリットは薬局での充分な説明と服薬指導が受けられることがあります。しかしながら、より多くの人がかかるので、当然ですが医療費は院内と比べて明らかに増大します。

(3割負担)は概算ですが表のようになります。



## ふじえ内科医院

群馬県高崎市上滝町321 TEL 027-352-7800  
<http://www.fujie.jp/clinic/>



2000kmを渡る謎多き蝶アサギマダラ  
2017/08/06 ハ甲田山の湿原にて

調剤薬局の管理料等の種類によって、2~4割違います。院内処方の方が安い理由は院内処方せん料が院外処方せん料と比べ安く調剤技術料も安いためです。当然ですが薬の価格はどちらも同じです。

●患者さんにとって、院内処方は医療機関ですぐに薬がもらえ、負担も少なく利点が多いのですが、医療機関ににとっては薬価差も少なくなった今、経費も余計にかかりメリットが少なくなっています。

ところが、最近ようやく厚労省も院外処方の医療費の高さに首を上げたためか、院内処方にもやや舵を戻すようなことを言い始めました。いずれにせよ当院は田先の利益にはじりわれずに今後も院内処方を続けるつもりです。それが患者さんにとってより負担が少なくなるだけでなく、自分で処方したお薬は責任持つて患者さんにお渡して丁寧に説明する必要があると感じるのであります。

●例えば高血圧症にて薬を3~4種類内服している場合の患者さんの場合



青森ねぶた祭 2017/08/05